

報道機関各位

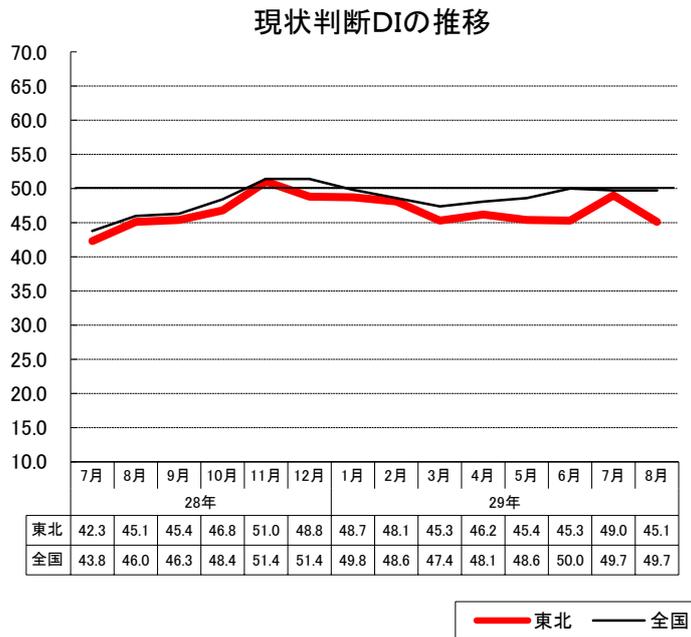
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 8 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 8 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

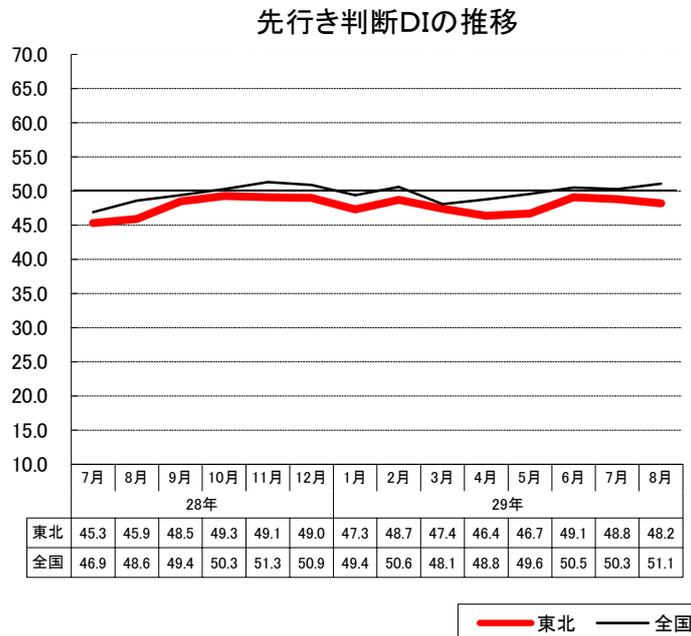
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「45.1」と2か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲3.9 ポイントとやや下回った。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「48.2」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.6 ポイントとわずかに下回った。

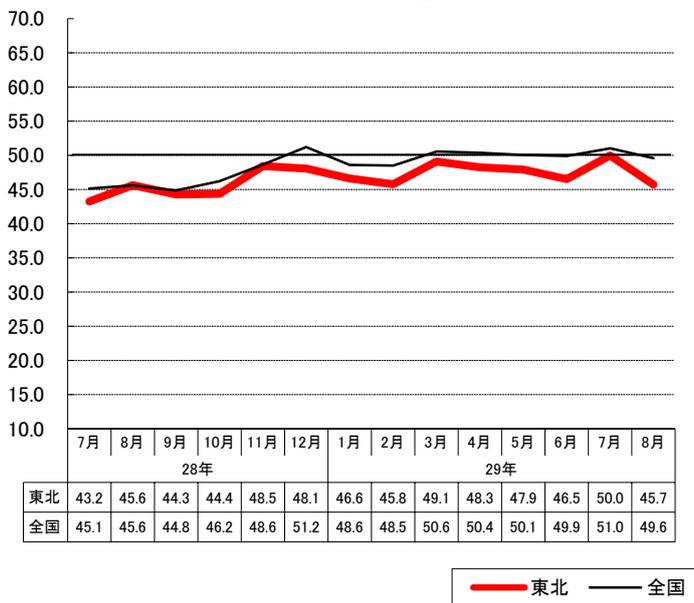


2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「45.7」と2か月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲4.3ポイントと大幅に下回り、2か月ぶりに景気判断の基準となる50を下回った。

現状判断DIの推移



・家計動向…観光型ホテル、住関連専門店、住宅販売会社等でDIが前月を上回ったが、高級レストラン、家電量販店、美容室等の業種でDIが前月を下回った。DIは「44.7」(▲4.7)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値50を27か月連続で下回った。

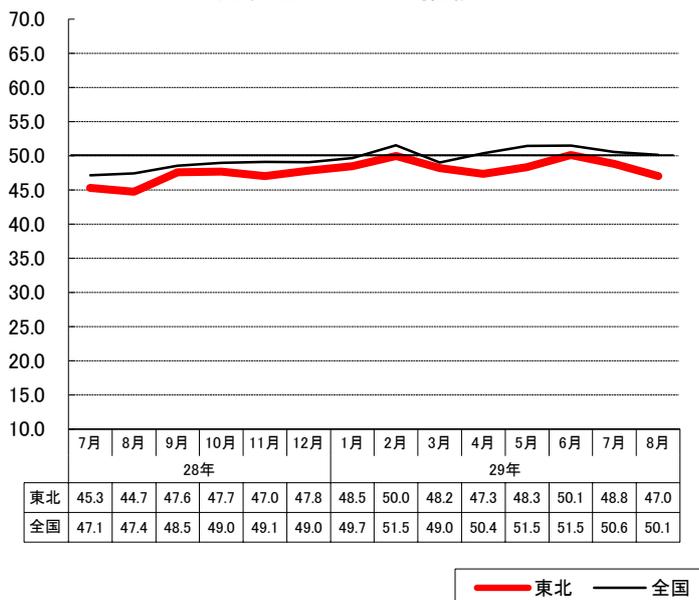
・企業動向…電気機械器具製造業、その他非製造業、広告代理店、司法書士・経営コンサルタント等でDIが前月を上回ったが、出版・印刷・同関連産業、農林水産業従事者、家具及び木材木製品製造業、輸送業、金融業等の業種でDIが前月を下回り、基準値50を2か月ぶりに下回った。

・雇用動向…DIは「51.1」(▲1.2)と2か月連続で前月を下回ったが、基準値50を3か月連続で上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「47.0」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.8ポイントとやや下回り、2か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…百貨店、住宅販売会社、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回ったが、商店街代表者、住関連専門店、高級レストラン等の業種でDIが前月を下回った。DIは「47.1」(▲1.3)と2か月連続で前月を下回り、基準値50を2か月連続で下回った。

・企業動向…その他非製造業、司法書士・経営コンサルタント、食料品製造業、輸送業等の業種でDIが前月を上回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは下回った。DIは「46.3」(▲1.2)と2か月連続で前月を下回り、基準値50を6か月連続で下回った。

・雇用動向…DIは「47.7」(▲5.7)と、3か月ぶりに前月を下回り、基準値50を3か月ぶりに下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	28年						29年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北現状	43.2	45.6	44.3	44.4	48.5	48.1	46.6	45.8	49.1	48.3	47.9	46.5	50.0	45.7
家計動向関連	42.2	44.4	43.3	43.7	47.4	46.6	46.0	44.4	49.6	47.7	47.0	44.9	49.4	44.7
企業動向関連	43.6	48.0	47.5	42.5	48.7	49.4	46.3	46.2	45.4	45.4	51.3	46.3	50.6	46.3
雇用関連(参考)	48.9	48.9	44.3	52.3	54.5	54.8	51.1	53.4	52.3	57.1	47.7	56.8	52.3	51.1

（2）先行き判断D I

	28年						29年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東北先行き	45.3	44.7	47.6	47.7	47.0	47.8	48.5	50.0	48.2	47.3	48.3	50.1	48.8	47.0
家計動向関連	45.0	42.6	47.4	47.0	46.1	47.0	47.4	49.2	48.0	47.3	49.1	50.2	48.4	47.1
企業動向関連	44.2	48.7	47.5	48.8	46.7	47.5	50.6	50.0	48.0	44.7	46.9	48.1	47.5	46.3
雇用関連(参考)	48.9	51.1	48.9	50.0	53.4	53.6	51.1	54.5	50.0	52.4	46.6	53.4	53.4	47.7

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 29 年 8 月 25 日～31 日

回答者数 194/210 名、回答率 92.4%(全国 1,869/2,050 名、91.2%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：菅場 喜樹）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（住関連専門店）…今月はお盆の時期のため、小物商品の販売量は好調である。ただし、単価が低いいため大幅な売上の増加にはなっていない。

（ショッピングセンター）…地元駅の再開発や改装により人の流れが良くなり、集客力が増している。

（観光型旅館）…夏休みやお盆の時期のため一時的に来客数は増えたものの、全体的には例年並みで推移している。

（都市型ホテル）…宿泊部門は好調を継続している。4～5月はインバウンド客が多いためであったが、今月はスポーツ関係の大会が目白押しであり、加えて製菓関係の会合が非常に多く、一般宴会や宿泊の数字を押し上げている。

（住宅販売会社）…停滞していた建売や宅地の売買が進んでいる。

（電気機械器具製造業）…高性能電子機器の開発スパンが延びることもなく、順調に推移している。

（建設業）…今年度発注の公共工事の受注が確定してきており、年度初めより景気は若干上向きの状況となっている。

○「変わらない」

（医薬品販売店）…記録的な長雨の影響で七夕や花火大会が不振に終わり、客足も途絶えてしまっている。ただし、客単価が上がっているため、売上はなんとか前年並みを維持している。

（百貨店）…雑貨、衣料品共に秋物に動きがみられるものの、依然買物に対して慎重な行動に変化はない。また、気温や天候の影響も大きい。

（コンビニ）…7月とは一転して曇天が続き、予想に反して夏は不発に終わっている。そのため、アイスやソフトドリンクなどの売上が伸びず、来客数も増えていない。

（衣料品専門店）…記録的な長雨により、夏物スーツやフォーマルの需要が消えてしまうなど、順調だった夏物需要に水を差された形となっている。

（家電量販店）…今月は冷夏の影響があったものの、来客数は前年並みで推移しており、売上の前年比も98%となっている。

（白衣・ユニフォーム専門店）…例年売上が落ちる時期であるが、今年は納期がずれたこともあり、夏の売上に計上できたものが多い。ただし、冷夏の影響かTシャツやポロシャツの動きは例年よりも少ない。

（高級レストラン）…来客数、販売量共に前年並みであるものの、単価が若干下がっている。また、客である中小企業の社長なども、景気があまり良くないと話している。

（旅行代理店）…長雨の影響で国内旅行は近場の予約でも前年並みであり、先行申込状況も好調とはいえない。また、海外旅行については、依然として欧州、北朝鮮の影響を心配する声があり、これまでの状況に変化はない。

（通信会社）…テレビサービスでは新しく4K、8Kサービスを展開しているものの、客の反応はあまり良くない。また、通信サービスは相変わらず顧客の奪い合いが続いているが、獲得数が解約数をやや上回っている程度で推移している。そのため、全体としては特に大きな変化はない。

（美容室）…冷夏の影響なのか、夏用のメニューが売れず、売上単価が減少している。

（食料品製造業）…地元の大きな祭りで売上の増加を期待したが、台風の接近により大きく売上を落としている。ただし、帰省のお土産需要が好調であったことから、売上の前年比は若干のプラスで推移している。

(公認会計士) …建設関係は依然として利益を計上している会社が多いが、売上、利益共に前年比が減少している企業も多い。サービス業、小売業も総じて売上、利益共に前年比が減少しているものの、こちらも利益計上企業が多い。

(人材派遣会社) …大手求人サイトへの掲載を補助する自治体の施策により、特に北東北において求人数は増えているが、サイト閲覧者はより条件の良い全国区企業に応募している。首都圏への人材流出が見受けられており、自治体施策が逆効果となっている。

(新聞社 [求人広告]) …夏はアルバイトを中心に求人が動く時期であるが、記録的な長雨の影響で、夏にアルバイトが必要な職種にほとんど動きがなかった。さらに、お盆のUターン狙いの求人もいつもより少なくなっている。

(職業安定所) …人手不足から事業所は離職者が出ないように努めていることもあり、離職求職者は減少している。また、転職者の動きも落ち着いており、引き続き求職者の前年比が減少していることから、景気に変化はないとみている。

○「やや悪くなっている」

(商店街) …天候に悩まされた1か月であり、特に書き入れ時の七夕は最悪であった。

(スーパー) …天候不順で飲料、酒などの売上が厳しい。また、お盆期間の来客数が前年を下回っており、8月全体でも来客数は前年を下回っている。天候も大きく影響したが、買上点数も落ち込んでおり、消費の冷え込みを実感している。

(一般レストラン) …お盆の帰省はにぎわったものの、お盆期間の前半に来店が集中して後半の来客数は少なくなっている。帰省が土日を含んだ日程に集中したためとみている。

(農林水産業) …8月に入ってから日照不足や長雨により、農作物への薬剤散布など、生育管理に思わぬ出費を余儀なくされている。

(木材木製品製造業) …輸入製品を中心とした住宅部材の値上げ分を、販売価格に転嫁できていない。

(窯業・土石製品製造業) …需要の減少に加えて、天候不順や集中豪雨により出荷に影響が出ている地区もある。また、長雨や集中豪雨の影響が農作物や地域経済に与える影響も懸念している。

(広告業協会) …天候不順により、清涼飲料メーカー、飲食店関係、大型商業施設などの出稿が激減しており、広告業界はかなり苦戦を強いられている。

○「悪くなっている」

(乗用車販売店) …例年、8月は祭りやお盆休みで稼働日数が少ないため、売上が減少する傾向にあるが、今年は特に良くない状態である。

(遊園地) …記録的な長雨がお盆を含んだ夏休み期間を直撃しており、来客数が前年よりも25%も下回っている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …今年の夏は気温が低い日が続いたことから、秋物の衣料品の動きが早まっており、例年よりも活発に動いていくとみている。ただし、食料品については低温、日照不足などによる品不足から、一部生鮮品の価格が上昇する見込みであり、先行きの景気にどのように影響するかが不安材料である。

(衣料品専門店) …夏の天候不順で客は秋の訪れを心待ちにしている。衣替えなどもスムーズに移行し、秋物需要が早まるのではないかとみている。

(家電量販店) …冷夏の影響により季節商材の売上は減少したものの、AV機器、冷蔵庫、洗濯機は順調に推移している。今後はオリンピック需要が見込まれるため、徐々に盛り上がるとみている。

(乗用車販売店) …今年は、2年に1度の世界的な自動車展示会が開催されるため、期待をしている。

(一般レストラン) …ある程度まとまった予約があるため、2～3か月先の景気は今年よりは良くなる見込みである。ただし、前年と比較して上回るかは不透明である。

(食料品製造業) …長雨の影響で来客数が減少し売上は伸び悩んでいるが、今後は秋の行楽シーズンを迎えるため、来客数も増えると見込んでいる。

(金属製品製造業) …急ぎの案件が増えている。今までの経験から、このような状況は上向きになる前段階と判断している。

○「変わらない」

(観光型旅館) …予約のタイミングが例年よりも遅いことが気になるが、この先は行楽シーズンであり、特に悪くなる要因もないため、例年並みで推移するとみている。

(電気機械器具製造業) …景気自体はすぐには変わらないが、人手不足が深刻な状況になっている。募集をしても応募がないという企業も少なくない。企業として伸びる可能性があっても、人手不足により規模の拡大ができない状態が続くことで、将来の成長に影響が出ることを危惧している。

(建設業) …受注量は現在の状態が継続するとみているが、これからは人手不足、コスト面を重視していく必要がある。

(金融業) …地元の経済マインドは緩やかな回復基調にあるものの、特に小売業などは夏祭りやお盆を過ぎてからの消費の服感が否めない。また、夏場の天候不順が一次産業に与える影響も現時点では読めない。

(広告代理店) …経済活動が縮小しているというほどではないものの、受発注量や得意先の動きが伸び悩み気味である。また、天候不順や北朝鮮の動きなど、周辺環境のマイナス要素が目立っている。

(人材派遣会社) …建設業や建設資材を扱っている企業では、先行きの受注量が減ってきている。現在の好景気はしばらく続くとみているが、これ以上は上向きことはないとみている。

(職業安定所) …製造業の新規求人数は増加傾向にあるものの、小売業、宿泊業・飲食サービスでは求人への更新などの動きが続いている。一方、正社員求人は増加傾向にあるとはいえない。

(学校就職担当者) …採用計画において、増員や新規採用を実施する企業は少なく、年度当初から大きな変化はみられない。

○「やや悪くなる」

(商店街) …当地域は天候に影響されやすい産業が多く、多くの客の購買行動に影響がでるとみている。

(コンビニ) …夏以降は、気温と比例して売上も徐々に減少していく。さらに、近隣に競合店が増えているため、秋冬は厳しい季節になるとみている。

(旅行代理店) …テロなどにより、海外旅行が手控えられることを懸念している。また、北朝鮮のミサイル問題においても、グアム方面の教育旅行や家族旅行がキャンセルされている。このことからこの先予断を許さない状況であり、この状態が長引けば景気はやや悪くなるのではないかと懸念している。

(遊園地) …秋の行楽シーズンに期待しているが、北朝鮮のミサイル問題もあり、心理的に消費を控える懸念がある。

(農林水産業) …天候不順が米やその他の農作物の収量に悪影響を及ぼすことを懸念している。

(出版・印刷・同関連産業) …前年と比較して受注残高が5%減少している。復興需要がほぼ一段落したためであり、今後の景気はやや悪くなるとみている。

○「悪くなる」

(スーパー) …複数の地域において競合店の出店が予定されており、来客数の減少は今後も続くとみている。販促策を強化しても来客数の減少をカバーしきれない現状において、今後ますます狭くなる商圏や、異業種間競争、ネット販売など、小売業の環境は厳しい状況となる。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上